

# ○ISO/TC 8/SC 2(海洋環境保護分科委員会)担当分

議長:吉田公一氏((一財)日本舶用品検定協会)、幹事国:米国(ANSI)

担当	規格番号	標題	標題(邦訳)	概要	制定等年月日	JIS化の状況
SC2	ISO 13073-1:2012	Ships and marine technology - Risk assessment on anti-fouling systems on ships -- Part 1: Marine environmental risk assessment method of biocidally active substances used for anti-fouling systems on ships	船舶及び海洋技術－船舶の防汚方法に関するリスク評価－第1部:船舶の防汚方法に用いる殺生物性活性物質の海洋環境リスク評価法	就航中の船舶に使用される防汚システムで意図的に使われている殺生物性活性物質による潜在的悪影響から海洋環境を保護するためのリスク評価法について取り纏めたもので、淡水域においても修正の上、使用することができるもの。【日本主導】	2012.08.01.	—
SC2	ISO 13073-2:2013	Ships and marine technology -- Risk assessment on anti-fouling systems on ships -- Part 2: Marine environmental risk assessment method for anti-fouling systems on ships using biocidally active substances	船舶及び海洋技術－船舶の防汚方法に関するリスク評価－第2部:殺生物性活性物質を用いた船舶の防汚方法の海洋環境リスク評価法	就航中の船舶に使用される殺生物性活性物質を活用した防汚システムによる潜在的悪影響から海洋環境を保護するためのリスク評価法について取り纏めたもので、淡水域においても修正の上、使用することができるもの。【日本主導】	2013.06.01. DIS投票 可決	—
SC2	ISO 13073-3:2016	Ships and marine technology -- Risk assessment on anti-fouling systems on ships -- Part 3: Human Health risk assessment for the application and removal of anti-fouling systems	船舶及び海洋技術－船舶の防汚方法に関するリスク評価－第3部:殺生物性活性物質が用いられた船舶の防汚方法の塗装及び除去作業における人健康リスク評価法	船舶の防汚塗料に用いられる殺生物性活性物質によって、塗装作業者が被ばくするリスクがある場合で、同物質を含む塗料製品を用いることができると判断するためのリスク評価法について取り纏めたもの。専門家あるいはアマチュアの労働者へ与える影響の測定にこのリスク評価を用いることができる。ただし、危険及び毒性の評価のための特定の試験方法はこの規格では定めておらず、物質の使用制限等の推奨もしてはいない。【日本主導】	2016.06.01	—
SC2	ISO/NP 13617	Ships and marine technology - Shipboard incinerators -Requirements	船舶及び海洋構造物－船上焼却炉の要件	改正作業に着手。SC3(配管及び機械分科委員会)から移管。  船舶の通常業務に伴って発生するガベージやその他の船内廃物(MARPOL条約附属書Ⅱ又はⅢにより定義された物質で汚れた貨物関連廃物を除く。)を焼却する焼却装置の設計、製造、性能、運転、機能及び試験について取り纏めたもの。	2014.10.02 NP投票否決	—
SC2	ISO 16304:2013	Ships and marine technology -- Marine environment protection -- Arrangement and management of port waste reception facilities	船舶及び海洋技術－海洋環境保護－港湾廃棄物受入施設の配置及び管理	MARPOL条約により規制を受ける船内発生廃棄物であって港湾・ターミナルに陸揚げされるものの管理について取り纏めたもので、港湾廃棄物管理計画(PWMP)作成、同計画の実施及び港湾受入施設の運用においての際に考慮すべき原則や問題についても記述している。	2013.03.15.	—

担当	規格番号	標題	標題(邦訳)	概要	制定等年月日	JIS化の状況
SC2	ISO/DIS 16304	Ships and marine technology -- Marine environment protection -- Arrangement and management of port waste reception facilities	船舶及び海洋技術－海洋環境保護 －港湾廃棄物受入施設の配置及び 管理	2013年1月1日に発効したMARPOL条約改正附属書Vに準拠した形で改正を実施する もの。  【補足】 TC 8/SC 2ペイントン総会(2017年6月)にて、DIS投票への対応を完了後、FDIS投票を 省略のうえ、制定手続きに移行する旨、決議が採択された。  Resolution 254: ISO/TC8/SC2 agrees to publish ISO 16304 Ships and marine technology -Marine environment protection - Arrangement and management of port waste reception facilities after completion of DIS ballot in lieu of FDIS.	制定に向けた 手続き中	—
SC2	ISO 16446:2002	Ships and marine technology -- Marine environmental protection -- Adaptor for joining dissimilar boom connectors	船舶及び海洋技術－海洋環境保護 －異種のコネクターを備え付けた ブームを連結するためのアダプター	標準的アダプターを介して種類の異なるコネクターを備えた流出油封じ込め用ブーム の統一的な結合方法について取り纏めたもの。	2013.04.01.	—
SC2	ISO 17325-1:2014	Ships and marine technology -- Marine environment protection -- Oil booms -- Part 1: Design requirements	船舶及び海洋技術－海洋環境保護 －オイルブーム－第1部:設計要件	オイルフェンスの基本設計、一般的な機能、表示方法を取りまとめたもの。この規格は ユーザーによる製造業者選択に役立つことを目的としており、製造業者が提供すべき オイルフェンスの材料、設計及び性能の最小限の要件を記載している。ただし、安全 関係への取り組み及びオイルフェンスの操作手順は定めていない。	2014.04.18	—
SC2	ISO 17325-2:2014	Ships and marine technology -- marine environment protection - Oil booms -- Part 2: Strength and performance requirements	船舶及び海洋技術－海洋環境保護 －オイルブーム－第2部:強度及び性 能に関する要求事項	ISO/DIS 17325-1に加え、オイルブームの強度及び性能要件並びに関連する試験方法 を取り纏めたもの。オイルブームの使用における安全要件については記載されていな い。	2014.10.15	—
SC2	ISO/DIS 17325-3	Ships and marine technology -- marine environment protection - Oil booms -- Part 3: End connectors	船舶及び海洋技術－海洋環境保護 －オイルブーム－第3部:エンドコネ クタ	水上における油の流出を防止するためのオイルブームの連結に関する最低限の基準 を取り纏めたもの。なお、配置に関する制限は設けない。  【補足】 TC 8/SC 2ペイントン総会(2017年6月)にて、DIS投票の終了後、FDIS投票を省略のう え、制定手続きに移行する旨、決議が採択された。  Resolution 254: ISO/TC8/SC2 agrees to publish ISO 16304 Ships and marine technology -Marine environment protection - Arrangement and management of port waste reception facilities after completion of DIS ballot in lieu of FDIS.	DIS投票実施中 投票期限 2017.11.5	—

担当	規格番号	標題	標題(邦訳)	概要	制定等年月日	JIS化の状況
SC2	ISO/AWI 17325-4	Ships and marine technology -- marine environment protection - Oil booms -- Part 4: Auxiliary Equipments	船舶及び海洋技術－海洋環境保護－オイルブーム－第4部: 周辺器具	オイルブームの設置に必要な周辺機器の設計、配置及び適用について取り纏めたもの。  【補足】 TC 8/SC 2ボルチモア総会(2016年6月23日)にて、以下の決議文が採択され、DIS投票を実施することとなった。  <i>ISO/TC8/SC2 agrees to issue a DIS ballot for 17325-4 Ships and marine technology – Marine environment protection – Marine environment protection – Oil booms - Part 4: Auxiliary equipment by 31 August 2016</i>	CD投票を省略するための手続き中	—
SC2	ISO 18611-1:2014	Ships and marine technology – Marine SCR applications — NOx reduction agent AUS 40: - Part 1: Quality requirements	船舶及び海洋技術－海洋環境保護－SCR用NOx還元剤AUS40－第1部: 品質に関する要求事項	エンジン排ガス処理のためのSCRに使用するNOx還元剤AUS40(尿素溶液)の品質特性について取り纏めるもの。	2014.10.03 制定	—
SC2	ISO 18611-2:2014	Ships and marine technology -- Marine SCR applications — NOx reduction agent AUS 40: - Part 2: Test methods	船舶及び海洋技術－海洋環境保護－SCR用NOx還元剤AUS40－第2部: 試験方法	NOx還元剤AUS40(尿素溶液)の品質特性の決定に必要な試験方法について取り纏めるもの。	2014.10.03 制定	—
SC2	ISO 18611-3:2014	Ships and marine technology -- Marine SCR applications — NOx reduction agent AUS 40: - Part 3: Handling, transportation and storage	船舶及び海洋技術－海洋環境保護－SCR用NOx還元剤AUS40－第3部: 取扱い、輸送及び保管	NOx還元剤AUS40(尿素溶液)の取扱い、輸送及び貯蔵を最適に実施するための要求事項及び推奨事項を取り纏めるもの。	2014.10.03 制定	—
SC2	ISO 19030-1:2016	Ships and marine technology – Measurement of changes in hull and propeller performance – Part 1: General principles	船舶及び海洋技術－船体及びプロペラ性能変化の測定－第1部: 一般要件	船体及びプロペラ性能の変化の測定に関する一般事項を取り纏めるもの。 本規格の目的を達成するに当たり、次の事項を規定する。 －船体及びプロペラ(水中における)性能の定義 －船体推進効率と船体への総抵抗の関連性 －船体及びプロペラ性能の変化測定時における適切な測定パラメータ －データ取得手順 －測定の不確かさの主な要因	2016.11.15 制定	—
SC2	ISO 19030-2:2016	Ships and marine technology – Measurement of changes in hull and propeller performance – Part 2: Default method	船舶及び海洋技術－船体及びプロペラ性能変化の測定－第2部: 標準手法	船体及びプロペラ効率の経時変化測定並びに基本性能指標を用いた計算の標準手法について取りまとめたもの。	2016.11.15 制定	—
SC2	ISO 19030-3:2016	Ships and marine technology – Measurement of changes in hull and propeller performance – Part 3: Alternative method	船舶及び海洋技術－船体及びプロペラ性能変化の測定－第3部: 代替手法	ISO 19030-2で取りまとめた手法を実践できない場合の代替手法について取り纏めたもの。	2016.11.15 制定	—

担当	規格番号	標題	標題(邦訳)	概要	制定等年月日	JIS化の状況
SC2	ISO 20053:2017	Ships and marine technology - Marine environment protection - Guidance on design and selection of sorbents	船舶及び海洋技術－海洋環境保護－油吸着材の設計及び選定指針	水上で用いられる油吸着材の基本設計、一般的な機能等について取り纏めたもの。また、製造者から供給される油吸着材の選定基準、材料、設計及び性能についての最低要件を取り纏めている。	2017年7月 制定	—
SC2	ISO/PWI 20082	Ships and marine technology－Marine environment protection－Monitoring system for ship energy efficiency	船舶及び海洋技術－海洋環境保護－船舶エネルギー効率のモニタリングシステム	EEOI値を正確に計測するEEOIモニタリングシステムの設計、製造及びモニタリング手法を取り纏めたもの。  【補足】本件は、エキスパート定足数の不足によりNP投票において否決されたが、TC8 パナマ総会(2014年10月末)において新たにメンバーよりエキスパート登録表明があったため、新規作業項目として承認された。 二度目のNP投票が否決されたため、PWI(予備作業項目)として開発することが、TC8/SC2ハンブルク総会(2015年7月)で合意された。 また、TC8/SC2ボルチモア総会(2016年6月23日)では、MEPC 70及びMEPC 71の審議結果に基づき今後の対応を決定すべきであると判断され、以下の決議文を採択し、引き続きPWIの状態を保持することを決定した。  <i>ISO/TC8/SC2 agrees to keep ISO/PWI 20082 Ships and marine technology – Marine environment protection – Monitoring system for ship energy efficiency at the PWI stage and make the decision whether to advance the project at the next SC2 plenary</i>	2015.06.26 NP投票否決	—
SC2	ISO/DIS 23048	Ships and marine technology — Verification method for portable power measurement using strain gauge	船舶及び海洋技術－ひずみゲージ式軸馬力計の校正手法	燃料消費等を計測する、ひずみゲージ式軸馬力計の校正手法について規定したもの。  【補足】TC 8/SC 2ペイントン総会(2017年6月)において、本ISO規格はISO 20083-2及び-3と主旨が異なるため(※1)、シリーズではなく単独規格とするための提案があった。この提案に伴い、本規格を単独規格とするため、番号及び名称を変更する手続きが取られることとなった。  ISO 20083-1(現ISO 23048)は、校正手法を主眼としている一方、ISO 20083-2及び-3は、機器そのものについて規定している。	DIS投票前 投票期間: 2017.11.14～ 2018.02.06	—
SC2	ISO/AWI 20083-2	Ships and marine technology -Shaft power measurement for ship propulsion system -- Part 2: Optical reflection method	船舶及び海洋技術－船舶推進システムの軸出力計測－第2部:光反射式軸馬力計	光源、反射版及びフォトセンサー等で構成される光学式軸馬力計の技術要件及び校正手順を取り纏めたもの。【日本主導】  【補足】 DIS投票に向け、TC 8/SC 2メンバー宛て意見照会を実施するための準備をプロジェクトリーダーが実施することとなった。本件に関して、TC 8/SC 2ペイントン総会(2017年6月)にて、以下の決議が採択された。  <i>Resolution 252: ISO/TC8/SC2 agrees to issue CIB for comments for 8 weeks for ISO/WD 20083-2 Shaft power measurement for ship propulsion system – Part 2: power measurement method by Optical reflection; the text for CIS should be prepared by end of September, 2017.</i> <i>The exact title should be provided by WG8.</i>	WD作成中	—

担当	規格番号	標題	標題(邦訳)	概要	制定等年月日	JIS化の状況
SC2	ISO/AWI 20083-3	Ships and marine technology -- Marine environment protection -- Part 3: Shaft power measurement for ship propulsion system -- Part 3: Alloy strip vibration method	船舶及び海洋技術－船舶推進シス テムの軸出力計測－第3部: 振動膜 式軸馬力計	振動膜式軸馬力計の一般要件及び機器の構成並びに計測精度を決定する要素につ いて取り纏めたもの。【日本主導】  【補足】 DIS投票に向け、TC 8/SC 2メンバー宛て意見照会を実施するための準備をプロジェク トリーダーが実施することとなった。本件に関して、TC 8/SC 2ペイントン総会(2017年6 月)にて、以下の決議が採択された。  <i>Resolution 253: ISO/TC8/SC2 agrees to issue CIB for comments for 8 weeks for ISO/WD 20083-3 Shaft power measurement for ship propulsion system – Part 3: power measurement method by elastic alloy strip by end of September, 2017 The exact title should be provided by WG8.</i>	WD作成中	—
SC2	ISO 21072-1:2009	Ships and marine technology -- Marine environment protection: performance testing of oil skimmers -- Part 1: Moving water conditions	船舶及び海洋技術--海洋環境保護-- 油回収装置(オイルスキマー)の性能 試験--第1部: 流水条件	オイルスキマーの性能をエンドユーザーが客観的に判断・比較・評価するのに資するた め、オイルスキマーの流水条件下での性能に関する定量的性能データを取得するた めの方法について取り纏めたもの。  【補足】ISO/TC 8/SC 2にて、ドイツより、本ISO規格が規定する試験方法を一部の国だ けが実施可能であるため、規格廃止の提案があった。この提案に伴い、本ISO規格の廃 止の是非について投票が実施されている。  SC2メンバー間で実施されたCIB投票では、メンバーの多くが「廃止して差し支えない」と 回答したが、中国のみ、国家規格に採用しているとの回答があったため、廃止は見送り となった。	2009.02.15. (制定)  廃止の是非を 問う投票 実施中  投票期限: 2017.07.27	—
SC2	ISO 21072-2:2009	Ships and marine technology -- Marine environment protection: performance testing of oil skimmers -- Part 2: Static water conditions	船舶及び海洋技術－海洋環境保護 －油回収装置(オイルスキマー)の性 能試験--第2部: 静水条件	オイルスキマーの性能をエンドユーザーが客観的に判断・比較・評価するのに資する ため、オイルスキマーの静水条件下での性能に関する定量的性能データを取得するた めの方法について取り纏めたもの。	2009.08.15.	—
SC2	ISO 21072-3:2010	Ships and marine technology -- Marine environment protection: performance testing of oil skimmers -- Part 3: High Velocity Oil	船舶及び海洋技術－海洋環境保護 －油回収装置(オイルスキマー)の性 能試験－第3部: 高速の油	オイルスキマーの性能をエンドユーザーが客観的に判断・比較・評価するのに資する ため、高速で流れる油の回収性能に関する定量的性能データを取得するための方法 について取り纏めたもの。  【補足】 TC 8/SC 2ボルチモア総会(2016年6月23日)にて、本規格を小改正する手続きを履行 するため、以下の決議を採択した。  <i>ISO/TC8/SC2 agrees to issue a ballot to confirm the cancellation of ISO 21072-1 Ships and marine technology – Marine environment protection – Performance testing of oil skimmers– Part 1: Moving water conditions based on the outcome of the periodic review</i>  この決議に伴い、現在、本ISO規格の小改訂の是非を問う投票が実施されている。	2010.03.01 (制定)  小改訂実施の是 非を 問う投票 実施中  投票期限: 2017.8.4.	—

担当	規格番号	標題	標題(邦訳)	概要	制定等年月日	JIS化の状況
SC2	ISO/NP 21716-1	Ships and marine technology — Test methods for screening the efficacy of anti-fouling paints — Part 1: Common requirements of test methods for screening the efficacy of anti-fouling paints	防汚塗料性能評価試験方法—第1部: 防汚塗料の性能評価方法の共通の試験条件	<p>船体付着生物の越境を防ぐために船舶に使用される防汚塗料の性能評価試験の共通方法を取り纏めたもの。【日本主導】</p> <p>【補足】 TC 8/SC 2ペイントン総会(2017年6月)において、8月末までにNP投票を実施するため、以下の決議が採択された。</p> <p><i>Resolution 250: ISO/TC8/SC2 agrees to issue NWIP for 21716 Ships and marine technology –Test methods for screening the efficacy of anti-fouling paints as a 3-part standard by end of August 2017 with liaison to ISOTC35SC9.</i></p> <p><i>o Ships and marine technology — Screening test methods for efficacy of anti-fouling paints — Part 1: General requirements of screening test methods for efficacy of antifouling paints</i></p> <p><i>o Ships and marine technology — Screening test methods for efficacy of anti-fouling paints— Part 2: Screening test method for efficacy of anti-fouling paints using the barnacle</i></p> <p><i>o Ships and marine technology — Screening test methods for efficacy of anti-fouling paints — Part 3: Screening test method for efficacy of anti-fouling paints using the mussels</i></p>	NP投票文書をSC2事務局に提出し、NP投票の開始前	—
SC2	ISO/NP 21716-2	Ships and marine technology — Test methods for screening the efficacy of anti-fouling paints — Part 2: Test method for screening the efficacy of anti-fouling paints using cyprids of Barnacles	防汚塗料性能評価試験方法—第2部: フジツボを用いた防汚塗料の性能評価の試験方法	<p>フロールーシステムに用いられる防汚塗料に関し、フジツボを用いた性能評価方法を取り纏めたもの。【日本主導】</p> <p>【補足】 TC 8/SC 2ペイントン総会(2017年6月)において、8月末までにNP投票を実施するため、以下の決議が採択された。</p> <p><i>Resolution 250: ISO/TC8/SC2 agrees to issue NWIP for 21716 Ships and marine technology –Test methods for screening the efficacy of anti-fouling paints as a 3-part standard by end of August 2017 with liaison to ISOTC35SC9.</i></p> <p><i>o Ships and marine technology — Screening test methods for efficacy of anti-fouling paints — Part 1: General requirements of screening test methods for efficacy of antifouling paints</i></p> <p><i>o Ships and marine technology — Screening test methods for efficacy of anti-fouling paints — Part 2: Screening test method for efficacy of anti-fouling paints using the barnacle</i></p> <p><i>o Ships and marine technology — Screening test methods for efficacy of anti-fouling paints — Part 3: Screening test method for efficacy of anti-fouling paints using the mussels</i></p>	NP投票文書をSC2事務局に提出し、NP投票の開始前	—

担当	規格番号	標題	標題(邦訳)	概要	制定等年月日	JIS化の状況
SC2	ISO/NP 21716-3	Ships and marine technology — Test methods for screening the efficacy of anti-fouling systems —Part 3:Test methods for screening the efficacy of anti-fouling systems using young mussels of Mytilus garoprovincialis	防汚塗料性能評価試験方法—第3部:ムラサキイガイを用いた防汚塗料の性能評価の試験方法	<p>フロースルーシステムに用いられる防汚塗料に関し、ムラサキイガイを用いた性能評価方法を取り纏めたもの。【日本主導】</p> <p>【補足】 TC 8/SC 2ペイントン総会(2017年6月)において、8月末までにNP投票を実施するため、以下の決議が採択された。</p> <p><i>Resolution 250: ISO/TC8/SC2 agrees to issue NWIP for 21716 Ships and marine technology –Test methods for screening the efficacy of anti-fouling paints as a 3-part standard by end of August 2017 with liaison to ISOTC35SC9.</i></p> <p><i>o Ships and marine technology – Screening test methods for efficacy of anti-fouling paints – Part 1: General requirements of screening test methods for efficacy of antifouling paints</i></p> <p><i>o Ships and marine technology – Screening test methods for efficacy of anti-fouling paints – Part 2: Screening test method for efficacy of anti-fouling paints using the barnacle</i></p> <p><i>o Ships and marine technology – Screening test methods for efficacy of anti-fouling paints – Part 3: Screening test method for efficacy of anti-fouling paints using the mussels</i></p>	NP投票文書をSC2事務局に提出し、NP投票の開始前	
SC2	ISO/AWI 21963	Ships and marine technology -- Marine environment protection -- Tank and piping system for facilitating oily water separation on fixed offshore marine structures	海洋環境に資する油水分離器を最適化するためのタンク及び配管の設計	船舶、海洋プラットフォーム及び海洋構造物の運用時に発生する汚水の油水分離を最適化するためのタンク、配管及び分離システムの設計について取り纏めたもの。	WD作成中	—